

議会だより



“楽しかった夏の思い出” 五箇小学校の児童たち

- 令和6年9月定例会・第4回臨時会……P2～P3
- 令和5年度決算内訳……………P4
- 一般質問……………P5～P9
- 総括質疑……………P9～P10
- 住民との懇談会……………P11
- 常任委員会・行政視察報告……………P12～P15
- 採決の状況……………P16



悪戦苦闘！火起こしにも挑戦

9月定例会

令和6年9月定例会を9月11日から26日までの16日間の会期で開催しました。

上程議案の令和6年度一般会計・特別会計補正予算、条例の制定及び一部改正並びに、令和5年度一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定、専決処分の承認、委員会委員の任命及び選任同意など計29件を原案通り、全会一致で可決・認定・承認・同意しました。

町政に対して8名の議員が一般質問を行い、議案には4名の議員が質疑を行いました。

また、7月30日、第4回臨時会を開催し、上程議案5件を原案通り、全会一致で可決しました。

一般会計補正予算（第3号） 449万5千円

10月に町長選挙が実施されるが、町議会議員の補欠選挙も同時に実施することとなったため、ポスター掲示板製作設置等の選挙公営費を増額補正するもの。

主な一般会計補正予算（第4号）

★西町消防車庫移転事業 1,052万7千円

西町老人会館前の道路拡張工事に伴い、既存の消防車庫（消防小屋）が支障となるため、移転する必要が生じ、隠岐島文化会館裏に新たに消防車庫を建設するもの。

★危険木処理作業費 675万6千円

松くい虫被害木の発生状況が例年より多く、倒木による家屋や財産等に被害を及ぼす恐れがあり、早急に処理する必要があるため、増額補正するもの。

★第15回隠岐古典相撲大会 183万円

町政20周年を記念して開催される隠岐古典相撲大会の主に会場設営費（土俵構築費・柱等整備費・会場整備費等）を増額補正するもの。



〔新設消防車庫予定地〕

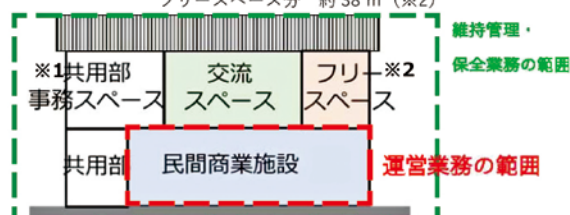
大社エリア交流・民間商業施設の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例

本条例は、地域経済社会の発展と活性化に寄与する施設運営の実施と、官民連携により地域の人々が活躍する場となる施設の運営を実施することを目的とするもので、PFI法に基づく特定事業の選定及び特定事業を実施する事業者の選定を行うにあたり、基本的な事項を実施方針に基づき定めるもの。

■施設の概要

延床面積：約 400 m²

- ・ 1階 約 200 m² うち、民間商業施設占有分約 160 m²
- ・ 2階 約 200 m² うち、交流スペース分 約 89 m²（※1）
フリースペース分 約 38 m²（※2）



民間商業施設及び交流施設の規模は、今後変更となることがあります。

任命・選任同意

★農業委員会委員

むらかみ ひろき
村上 弘樹 氏

★固定資産評価審査委員会委員

よしだ あつお いけだ しげよし まんだ ひろゆき
・ 吉田 篤夫 氏 ・ 池田 茂良 氏 ・ 満田 弘之 氏

第4回 臨時会

7月30日(月)第4回臨時会を開催し、令和6年度一般会計補正予算(第2号)及び工事請負契約等、計5件を全会一致で原案通り可決しました。

主な補正予算

★令和5年度 事業系 自己搬入ごみ処理 手数料の過誤徴収による償還金 284万9千円

令和5年度、島後清掃センター及びリサイクルセンターにおいて、事業所からの自己搬入ごみ手数料を過誤徴収していたことが判明したことによる償還金。

工事請負契約の締結

★隠岐島油槽所屋外No.1及びNo.5タンク改修工事 1億5,312万円

3者による指名競争入札で、宇部工業株式会社が落札。

石油製品の品質確保を目的に、油槽所開設より15年以内に行う規定によるタンク改修工事。

★令和6年度港整備交付金 西村港防波堤改良工事 1億2,650万円

4者による指名競争入札で、株式会社金田建設が落札。

条例の一部改正

★廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

隠岐の島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正(令和5年4月1日施行)に誤りが確認されたため、改正するもの。

施行期日 令和6年8月1日

改定前
50kg以内/自動車1台
650円
ただし、**10kg**を超える場合は10kgごとに**80円**を加算する

改定後
50kg以内/自動車1台
650円
ただし、**50kg**を超える場合は10kgごとに**130円**を加算する

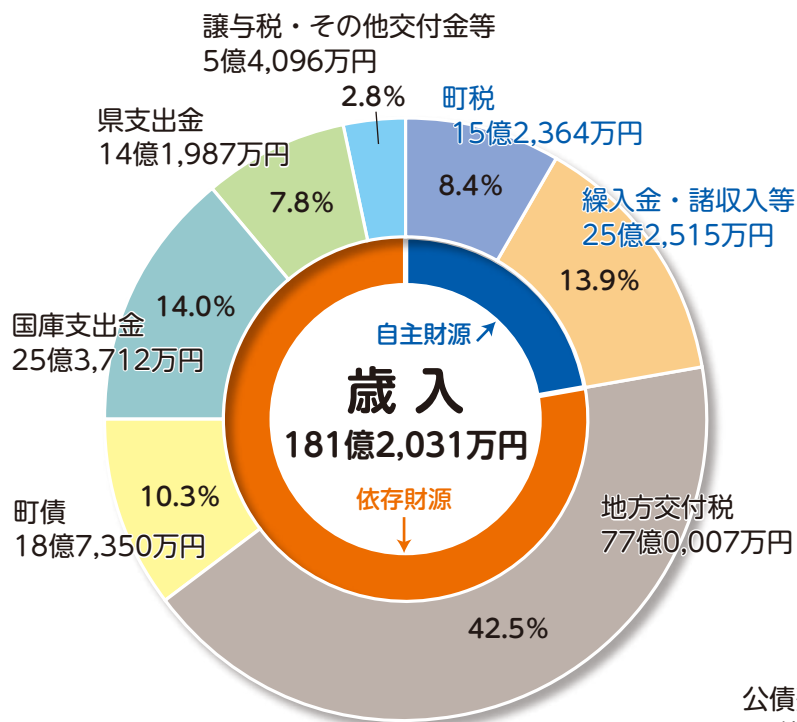
令和5年度 歳入歳出 会計決算を認定

一般会計・特別会計(12会計)・水道会計(企業会計)決算額 一覧

区 分		歳入決算額	歳出決算額	形式収支額
一 般 会 計		181億2,030万円	177億7,999万円	3億4,031万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	18億2,529万円	18億2,176万円	353万円
	国民健康保険施設(中村診療所)	2億1,084万円	2億1,084万円	0万円
	国民健康保険施設(五箇診療所)	1億2,721万円	1億2,721万円	0万円
	国民健康保険施設(都万診療所)	1億0,471万円	1億0,471万円	0万円
	下水道事業	17億9,828万円	16億8,632万円	1億1,196万円
	駐車場事業	2,540万円	2,534万円	6万円
	訪問看護事業	2,764万円	2,764万円	0万円
	布施へき地診療施設事業	3,602万円	3,602万円	0万円
	五箇へき地診療施設事業	888万円	888万円	0万円
	中財産区	149万円	99万円	50万円
	後期高齢者医療保険事業	4億3,968万円	4億3,391万円	577万円
	国民健康保険施設(西郷歯科診療所)	5,510万円	5,510万円	0万円
特別会計(合計)		46億6,058万円	45億3,876万円	1億2,182万円
一般会計・特別会計(合計)		227億8,088万円	223億1,876万円	4億6,213万円
水道事業(企業会計)		8億4,968万円	10億4,834万円	-1億9,866万円

注:万円単位表示により合計金額等に不一致あり。・企業会計金額(税込み)

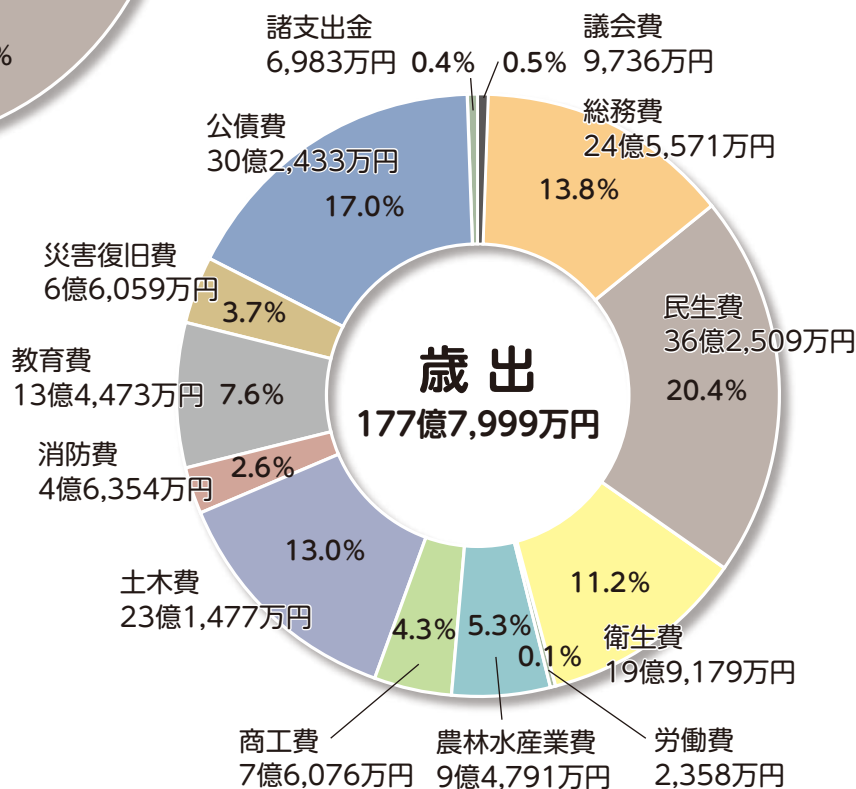
令和5年度 一般会計 歳入・歳出 決算内訳



繰入金・諸収入等の内訳 (25億2,515万円)

・分担金及び負担金	2億9,687万円
・使用料及び手数料	4億0,127万円
・財産収入	2,152万円
・寄附金	4,591万円
・繰入金	9億6,111万円
・繰越金	3億2,742万円
・諸収入	4億7,105万円

目的別支出



令和5年度決算の特徴

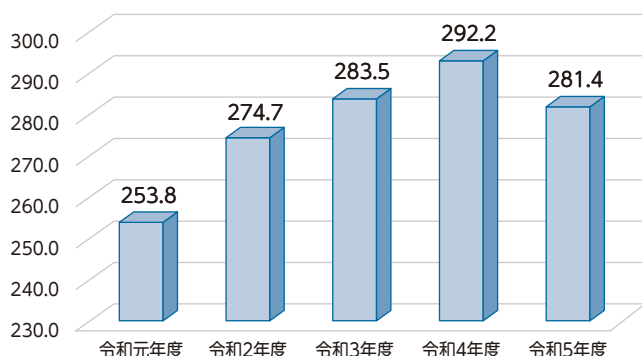
令和5年度決算は、歳入歳出ともに令和4年度を下回りました。

歳入面では、財政調整基金を4億2,159万円、減債基金を3億3,000万円取り崩し、財源不足を基金の取り崩し(繰入金)で補う状況となり、その結果、基金残高は8億8,632万円減の41億7,622万円となりました。

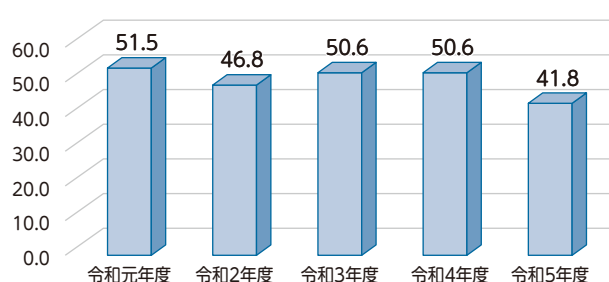
一方で、町債の償還額(公債費)が新規の町債発行額を大きく上回り、町債の年度末発行残額は、10億8,728万円減の281億3,764万円となりました。

町債発行残高・基金残高の推移(普通会計)

普通会計 町債 (借入金) 残高 (億円)



普通会計 基金残高 (億円)



町政を問う！ 一般質問

紙面上、質問と答弁は要約した内容になっております。
全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載します。
またYouTubeにて一般質問の動画も公開しております。

町長

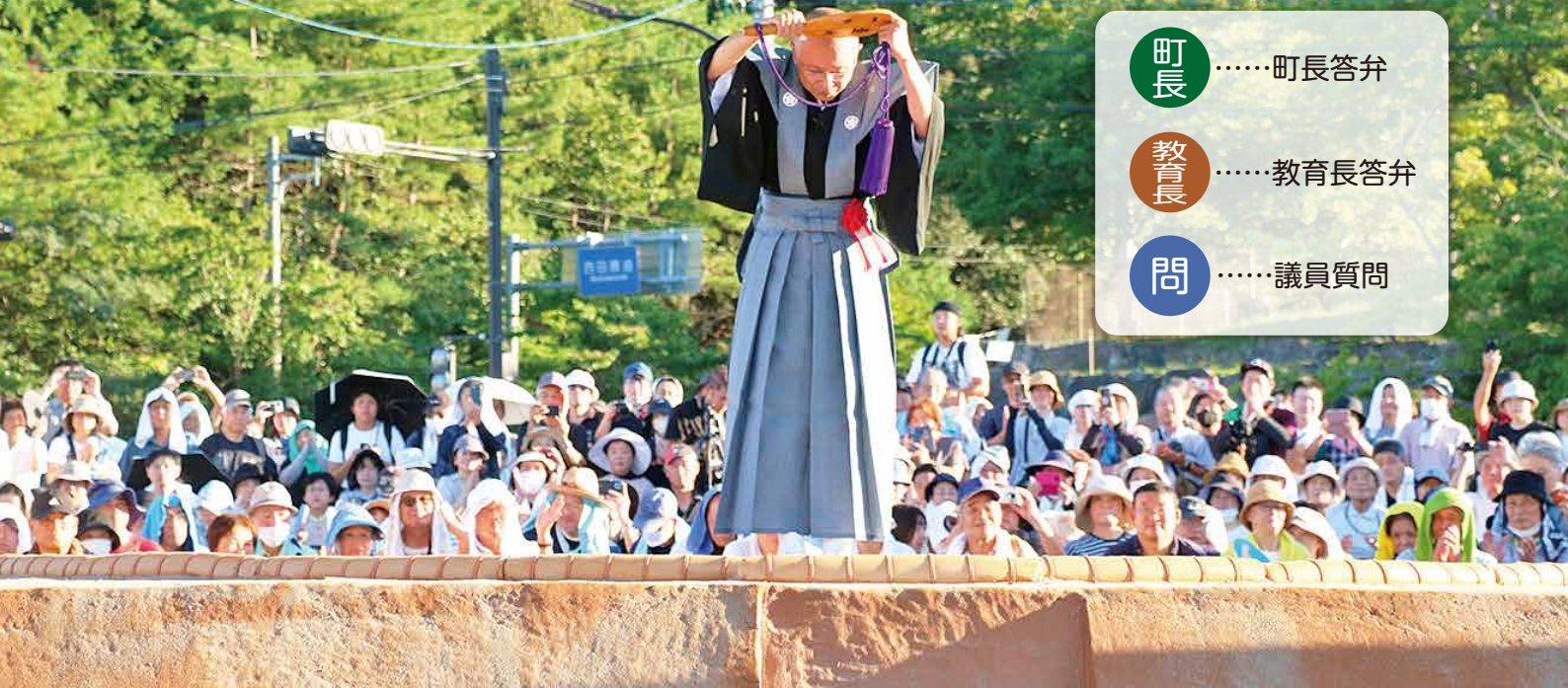
……町長答弁

教育長

……教育長答弁

問

……議員質問



町長 町としても出生数を重要視しており、そこに特化した施策を展開していく必要がある。高齢者福祉については高齢者を不安にさせていると認識している、介護職員の処

問 今までさまざまなか事業を進めてきたと理解している。しかし、出生数の減少傾向や担い手不足による介護施設の閉鎖や休止、さらに観光振興においては観光客数が約5万と長年横ばいの状態となっている。現状を踏まえ2期目の自己評価を伺う。

Q 町政2期目の自己評価は
A 少しずつ「良かったが響くまち」に近づいている



遇、介護事業者の負担軽減策を充実する必要がある。観光振興については宿泊者が町部に集中する傾向にあり改善が必要。目標数値を持ちながら進める。

Q 自転車活用推進計画の策定を
A 住民の理解と声を聞きながら考えた

問 本町はゼロカーボンシティ宣言をした。本町の脱炭素計画ではEV車の推進が明記されているが、高額であることや町民アンケート結果から望む声が少ない状況だ。国が定める身近でできる30項目（ゼロカーボンアクション30）で自転車活用が明記されていることから、国・県は①快適な利用環境の形成②健康増進③サイクルツーリズム④安心安全な環境整備を基



自転車利用の促進を

本目標とする「自転車活用推進計画」を策定しており、本町も策定すべきと思うが。
町長 自転車の活用は重要と考えている。また自転車側も車側もマナー守っていくというのが「推進計画」と認識している。町独自の計画策定については、今しばらく住民の理解と声を聴きながら進めていきたい。



いしだ しげはる
石田 茂春 議員



す。まだ道なかばでもある事業もあるように思われま

また、経験した

Q 町政2期8年を振り返ってどのよう

A この8年間全身全霊をかけ町政に取り組んだ

問

2016年10月初当選から一貫

して隠岐の島が好きだからとの思いを抱き、「良かったが響く町隠岐の島」を目標に、「3つの良かった」の実現を目指し2期8年間隠岐の島町発展の為、取り組んでまいりました。また10年、20年先見越したまちづくりをする。

3つの良かった

第1点生まれて良かった
第2点住んで良かった
第3点訪れて良かった

この8年間町長の選挙公約は着実に実行されてきたように思われま



第2次隠岐の島町
総合振興計画

この新しい新型コロナウイルスウィルス感染症、2年3年と続き全国的に苦しい年月が続きました。我が町も同じです。町長を先頭に全職員あげて、最優先で行ってきた新型コロナウイルス感染症対策です。

雇用確保、経済サイクルの維持、事業者の事業継続をいち早く支援するため、国や県の施策を活用し細部にわたり効果が表れるよう、事業の継続、雇用の確保を念頭に我が町独自の施策を講じてきました。

町長

1期目は「総合振興計画やまち

ひと・しごと創生総合戦略」のもと、役場新庁舎やジオパーク中核拠点などの大規模施設整備、そして西郷港周辺の整備に着手。

2期目は新たな総合振興計画のもと、各施策を推進すると同時に、新型コロナウイルス感染症との闘い、2年連続で発生した未曾有の大災害への対応に力を注いだ。この8年間全身全霊をかけ町政に取り組んできた。



さいとう のりこ
齋藤 則子 議員



Q バス停留所に併設されているトイレの洋式化を

A 地域の意向を聞き必要に応じ改善する

問

要所所のバス停のトイレ併設

は重要で、この点旧村役場の先見の明に敬意を表する。

上那久は、那久川の谷あい約600mの細長い集落を形成しており、バス停は集落の最下流に設置されていて併設のトイレは和式だ。バスの利用者はほぼ高齢者で一般的にトイレが近い。上流に住むバス利用者は、バス停まで長い道を歩き、バスに乗りし都万まで揺られていく。

また清掃委託を受け

町長

全国的に和式トイレは1割で、

高齢者や障がい者にとって使いづらいのは確か。町内3か所に和式トイレがあり、地域の意向を踏まえ必要に応じ改善していく。

問

バスの利用者は高齢者の交通弱者が主だ。

Q 要所のバス停に屋根とベンチの設置を

A 一畑バスと協議の上適切に実施する

暑い夏、冷たい風の冬、また雨が降ってきた時には屋根が必須だ。大型店近くでは袋を下げてバス待ちの高齢者を見かける。例えば「平の新開地」のような大型店舗近くの停留所のように屋根やベンチが無い所は調査・検討すべきと思うが町長のお考えは。



平地区に新たに設置されたバス停

「平の新開地」の中村・五箇・都万方面へのバス停には、一畑交通と協議し、ベンチを設置する。引き続き町内バス停の管理については適切に実施していく。



むらかみ かねたけ
村上 謙武 議員



に努めている。

また、本町のブランド力を高める取り組みとして、私が全国各地を訪

Q 地元産品のブランド化と本町のブランド力を高めるための取り組みは

A 白バイ缶詰めのブランド化や本町の魅力のPRに努めている

問

ここ3年間に於ける本町産品のブランド化を実現するための取り組みと、併せて「隠岐の島町」のブランド力を高めるためにどのような取り組みを行ってきたのか、具体的な対策は。

町長

令和3年度に「隠岐白バイ」を全国にPRすることを目的に缶詰め製造を開始し、ふるさと納税の返礼品や、全国の物産館や各種イベントで販売するなど、ブランド化



白バイ缶詰

問

白バイの缶詰は、本町産品のブランド化につながったという風に町長は捉えておられるのか。

町長

爆発的にはないにしろ、つながっているものと自分には認識を持って取り組んでいる。

Q ふるさと納税額の目標値を達成するための戦略は

A 三つの施策を軸として目標達成に向け取り組んでいる

問

本町の総合振興計画事業実施計画では、ふるさと納税事業の令和6年度以降の寄附額の目標値（KPI）を8000万円としているが、本町ではこの目標値を達成するために現在どのような戦略を持って取り組んでいるのか。

町長

今年度は「寄附者数の増加」「寄附単位の増加」「持続可能なふるさと納税の推進」の三つの施策を軸として、ふるさと納税の目標額達成に向け、取り組みを行っている。あらゆる施策を講じ、寄附額を増やしたいと考えている。



まさの まきこ
牧野 牧子 議員



Q 猫の避妊去勢手術の補助支援をすべき

A 隠岐保健所と連携し調査研究を行う

問

現在、動物の愛護と適切な管理を目的とした「動物愛護管理法」が定められている。愛護動物の虐待や遺棄は犯罪であり、懲役や罰金に処される。野良猫への餌やりは繁殖に繋がり周辺住民の環境悪化を引き起こすなど、注意喚起もされている。

しかし、町内で飼っている猫の飼養放棄から野良猫が増え、無責任な餌やりにより近隣住民の健康被害や住宅内に子猫の侵入によって屋根や壁、床下を壊し救助しなければならない被

害や子猫の放置が防犯カメラによって判明し、捜査対象となるなど野良猫による被害が出

ている。

住民の意識向上と啓発だけでは解決に至らないので、まずは飼っている猫の避妊去勢の意義を周知徹底するとともに島内の飼い猫・野良猫への避妊去勢手術の補助をすべきではないか。

町長

飼っている猫に管理する義務があり、自己の責任において避妊去勢手術を行うことが原則であるが、避妊去勢手術に対する本町独自の補助支援制度に対して、隠岐保健所と連携し調査研究を行っていく。

Q 防犯カメラを設置すべきでは

A 関係機関と協議し選定設置する

問

捨て猫は同じ場所に何度も遺棄



遺棄された子猫たち

される場合が多く見られるが「捨て猫防止」のみならず、防犯や災害時にも役立つ、防犯カメラの設置が必要ではないか。

町長

防犯カメラは防犯意識の高揚を図るとともに、災害の予防など、安全安心な社会を目指し設置をしている。動物の遺棄防止にも寄与する。今後、関係機関と協議を行い選定し設置する。



きくち まさふみ
菊地 政文 議員



Q 隠岐のスポーツ教育にかけける思いは

A さまざまな支援や援助を行っている

問

隠岐の海の引退後、隠岐の海口

スを感じるの、町民すべての方が思う気持ちと想像します。大相撲の世界で十八年間、変化、張りなしの正攻法で取り続けて、何度も島に勇気と感動を与えてくれました。隠岐の海の輝かしい功績を見て、隠岐のスポーツ教育にかけける思いを伺います。

教育長

本町には『隠岐の島生涯スポーツ振興計画』があり、

地域スポーツ環境の整備、長寿社会、ライフステージに応じた支援、競技スポーツの支援な

どがあり、学校、地域、家庭が連携し地域スポーツクラブの人材も活用し、多様な指導をしている。

また、環境からくるハンデがないよう渡航費の援助もしている。

Q 町政二十周年記念事業古典相撲に対する思いは

A 大中会、関係者の皆様方に感謝の気持ち

問

12年振りに開催された隠岐古典相撲が島内を座元、寄

方になり、大中会の組織のもと、力士はもとよりご婦人から多くの地域の方々の協力を得て繋いで来た十五回目の古典相撲を終えて町長の思いを伺います。

町長

古典相撲が無事に終えることが

できたことは、ひとえに隠岐古典相撲の大中会はじめ、関係者の皆

さま、そしてご声援頂いた皆様に感謝します。今後についても、島に伝わる伝統文化「隠岐びとの心」を未来に伝え、島が持つポテンシャルをしっかりと引き出し、夢と活力ある町づくりを目指す。



おかだ ともこ
岡田 智子 議員



Q 「隠岐の島町こどもレター」導入の見解は

A 「協働によるまちづくり」を推進する上で、重要であると考え

問

東京都の豊島区では、昨年の6月より、中学生までの子どもたちの声を、積極的に区政に反映するため、子ども版広聴事業として「こどもレター」を開始した。

この「こどもレター」は、子どもたちの視点でないと気付かないような困りごとや、改善してもらいたいことが把握できるだけでなく、子どもたちや家族を応援するための政策にも反映できる。

本町にも「町長への

手紙」「子ども議会」を実施しているが、誰でも気軽に、自分の率直な思いを届けられる

環境づくりを整えることが「隠岐びとの心」を育むだけでなく、町長の目指す『住んで良かった』『生まれて良かった』のまちづくりにも貢献できると考える。

子どもたちの声を、これからのまちづくりに繋げるためにも「隠岐の島町こどもレター」を実施すべきだと思うが。

町長

大人のみなならず、子どもたちの声

もししっかりと聴き、まちづくりに活かしていくことは「協働によるまちづくり」を推進する上で、重要であると考え

まずは、現状の「町長への手紙」「出前町長室」「子ども議会」の機能を、子どもたちが、

より使いやすくなるよう検討していく。
また、タブレット等が、既に子どもたちに普及していることから、現在研究を重ねている「隠岐びとチャンネル」の広聴機能において、子どもたちの声が聴けるような仕組みづくりも進めていく。
今後、本町を背負う子どもたちと対話をしながら、町政を進めていきたい。

※東京都豊島区『こどもレター』とは？

子どもたちが、日頃『嬉しく感じていること・困っていること・期待していること』等を記載し、区長に伝えることが出来る「折紙封筒式のかわいい様式」を作成した。返信も「子ども専用の便箋と封筒」で郵送される。



まえだ よしき
前田 芳樹 議員



Q 洋上風力発電事業を自治体存続の起死回生策に

A 住民のコンセンサスが得られた段階で検討する

問

2050年には全ての機械が二酸化炭素を排出しない動力源に置き換わる。

世界が向っているのは電気エネルギー源。ではどのようにして本町内で電気エネルギー源を取得して行くのか。島を取り巻く広大な海を活用することを考えるべきではないか。島の廻りの海は何も漁業者だけのものでは無く、全ての隠岐島民のために活用されるべき場所だ。漁場が失われてしまっほど海を占拠する訳でも無く、ほんの一

部の海域を絶大な経済効果をもたらす浮体式洋上風力発電事業に活用させるべきである。

人口減少に歯止めを掛けるには起死回生の一大事業を展開するしか方法は残されていない。

因みに、水産振興基金が年間最大7.1億円が20年間、固定資産税が設置初年度に100億円も交付され、その後も税収が格段に増加する。地元雇用が500人も創出され、島内の電気料金が格段に安くなるという。脱炭素化も実現でき、持続可能な町となれる一大事業に行政が自ら取り組みないという方法は無い。

然るに、社会的コンセンサスが形成されるのをただ待つのではなく、行政が協力をしつつ早く実現をさせ、「持続可能な自治体」になるための起死回生策と

して浮体式洋上風力発電事業に積極的に取り組むべきではないか。

町長 洋上風力発電事業は経済波及効果が期待されることは十分に認識をしている。発電事業者が主体となり地域住民のコンセンサスが得られた段階で検討する。



浮体式洋上風力発電事業を起死回生策に

予算・条例などをチェック！

総括質疑

質問した議員

○村上 謙武
○石田 茂春

○西尾 幸太郎
○前田 芳樹

紙面上、質問と答弁は要約した内容になっています。全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載されています。

また、YouTubeにて動画も公開しており、スマホやタブレットから右のQRコードを読み取ると簡単にアクセスできます。



森林振興事業について

村上議員

今回の高性能林業機械導入補助金については、町の補助金が1/4(95万3千円)となっているが、補助率1/4の根拠は。

農林水産課長

本町の補助金要綱に補助金の額及び補助率は、事業主体が負担する経費を超えない額で、1/4以内と明記されている。

村上議員

令和元年度から森林環境譲与税が、一般財源の中に給付金として交付されている。補助金要綱もそろそろ見直すべきではと感じている。この度の補助金の財源に森林環境譲与税は含まれているのか。

農林水産課長

森林環境譲与税の用途に沿った事業と考えており、充当する。

村上議員

松くい虫危険木処理事業について、今年度はさらに11件の松くい虫の被害木を処理する予定で補正予算が計上されたが、昨年末、新年度予算要求の際に被害木の調査や危険木の把握をどのように実施したのか。

農林水産課長

例年予算要求時までに処理要望のある件数の精査並びに公共施設周辺の現地を調査し本数等を確認している。



道路沿いに点在する枯れ松

物価高騰対応重点支援給付金事業について

西尾議員

対象の令和6年非課税世帯数が当初20世帯だったのが今回307世帯と大きな変更となっているが説明を。

住民福祉担当課長

国から提供された計算シートで対象世帯数を当初算定していたが、家計急変世帯のみ対象となっており、実際には対象となるゾーンの一部しか捉えられず当初と比較して大きな乖離となった。

西尾議員

前年度の非課税世帯数を考慮して町としても試算しておけば、今回のような大きな変更にならなかったのではないか。

副町長

今回、国からの通知が段階的に来ており、最終的な情報は6月の補正予算を締め切ったあとで今回の結果となった。対象者に早急に給付できるよう努めているので、ご理解いただきたい。

物価高騰対応重点支援給付金とは

物価高騰による負担増を踏まえ、令和6年度に新たに住民税が非課税または均等割のみ課税となった世帯に対し、国の重点支援地方交付金を活用し、1世帯あたり10万円を給付するもの。

また、該当世帯のうち、18歳以下（平成18年4月2日以降生まれ）の児童がいる世帯に対しては、児童1人当たり一律5万円を給付するもの。

石田議員

6月補正予算では、定額減税一体支援枠の給付金限度額計算式を用いて計算し、対象者数及び給付金額を基に予算措置を行い、その時の計算では、対象世帯が20世帯、金額で200万円となっていた。

しかし、今回の補正予算では、307世帯、5734万円の増額補正となったが、大幅に増となった理由は、

住民福祉担当課長

6月の補正予算は、令和4年度個人の市町村民税の納税義務者等に関する調べを用いて計算したが、課税対象者を絞ることはできなかったからである。

石田議員

今回、給付金パッケージシステムを導入して算出した結果、対象世帯が大幅に増加したが、なぜ6月の補正予算の際に給付金パッケージ

システムを導入し処理しなかったのか。

住民福祉担当課長

給付金パッケージシステム導入については、国からの指示が5月中旬から6月上旬にかけてあった。そのために6月の補正予算には間に合わなかった。

給付金パッケージシステムとは

令和6年度に新たに住民税均等割非課税となる世帯及び令和6年度に新たに住民税均等割のみ課税となる世帯等への給付金を給付する作業において、市区町村職員が効率的に事務作業を行うためにリリースされたシステム。

ごみ処理・指定袋作成費について

前田議員

回収不能の札を付けて未回収とした袋の発生は全域的にどのような状況か。

環境課長

分別が不十分で未回収のごみ袋は、毎週数箇所のごみ集積所で確認されている。指定袋に指定されたゴミ以外のものの混入がある。

前田議員

資源袋、可燃袋、不燃袋、3種類の袋の区分印刷はよくできている。ただつい先頃、資源ごみ袋にカセットボンベが混入していて未回収札が貼られ5袋が残される騒動があった。分別収集をしつかり守るよう周知徹底がさらに必要ではないか。

環境課長

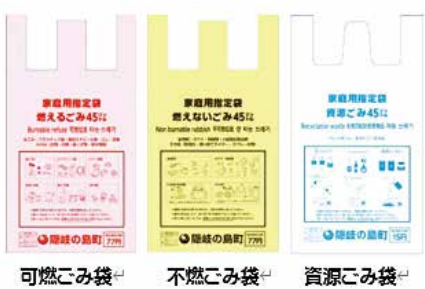
約1年が経過して制度はかなり浸透している。周知啓発を継続して行く。

前田議員

ごみ袋に出した人の名前を書くことを義務づけてもよいのかどうか。

環境課長

県内の19市町村では10町村が義務化をしている。ただ、全国的に、個人情報保護の観点から記名を義務化しない自治体も増えており、市町村ごとの判断となっている。



住民と議会との懇談会を開催します

懇談会に参加してみませんか!



本町議会では令和5年度より、町民の皆様との懇談会を行っております。
今回は下記のとおり開催いたしますので、お気軽にお越しいただき、皆様
のご意見をお聞かせ下さい。



開催場所・日時・参加議員

11月16日(土)

10:00～
12:00

隠岐の島町農村環境改善センター(五箇郡)

テーマ：隠岐温泉GOKA、創生館、郷土館などの活用について

14:00～
16:00

隠岐の島町図書館 研修室

テーマ：西郷港周辺の整備計画について

11月17日(日)

10:00～
12:00

隠岐の島町中出張所

テーマ：若者定住と中地区の地域振興について



14:00～
16:00

役場町民ホール

テーマ：地域振興について



※参加議員：全ての会場に全議員が出席します



当委員会に付託された、令和5年度一般会計・特別会計決算、令和6年度一般会計・特別会計補正予算、条例の一部改正、規約の一部変更等の議案は、全て原案通り「可決・認定すべし」とした。主なものを報告する。

情報収集に努め、注意喚起や感染予防対策の周知徹底を

審査の状況・結果

◆国民健康保険条例の一部改正

12月2日から被保険者証の新規発行が廃止となることに伴い、条例の一部を改正するものである。

委員からは「マイナンバーカードの交付を受けていない人がいると思うが」「国民健康保険証を持っていても、マイナンバーカードで受診できるのか」などの意見があった。

執行部からは「国民健康保険証・マイナンバーカードのどちらでも受診は可能であるが、マイナンバーカードを持っていない方には資格確認書を発行する。今、過渡期にあたり不安感もあるので、12月に向けて情報共有と周知をしていく」との説明であった。

委員会としては、引き続き、町民の疑問や

不安に対して、懇切丁寧な対応を心がけるよう指摘をした。



マイナンバーカードを持っていない方には「資格確認書」を発行する。

◆成人感染症予防事業 新型コロナウイルス予防接種費

本年度から定期接種となった、新型コロナウイルスのワクチン接種にかかる委託料を計上したものである。

委員からは「6月・7月に接種希望調査をしているが、これから接種を希望する人も接種できるのか」「役場は日程調整をしないのか」「依然として、コロナが収束しないが、任意接種について町が支援する考えはないか」などの意見があった。

執行部からは「6月・7月に行った接種希望

調査は、ワクチン等の準備を行うため、どのぐらいの希望者がいるのかを知るための調査であった。お知らせ便にて、医療機関の予約時間や日時等、周知をするので、接種を希望する方は、各医療機関に直接申し込みいただくことになる。

また、コロナの予防接種は、インフルエンザと同じ扱いと国も示しているため、任意接種に対する支援は、考えていない」との説明であった。

本年度から、インフルエンザと同等の扱いになったものの、新型コロナウイルスの患者数が増加傾向であるため、情報収集に努め、注意喚起や感染予防対策の周知徹底を図るよう指摘をした。

【※9月5日発行の「お知らせ便第399号」において、新型コロナウイルス感染症予防接種のご案内をいたしております。】

決算審査

◆学力向上対策事業（授業づくり研究会）

ICTを活用し、子どもたちの学力の向上を目指し「授業づくり研究会」を立ち上げ、授業改善に活かしていくことを目的としている。

委員からは「研究会で実施した内容は、どのようなものか」「この事業の立案及び計画は本町か」「現代の子どもたちは情報過多で大変だと思うが、学力向上に期待できる事業か」「今後も同様な形で授業づくり研究会を実施する予定か」などの意見があった。

執行部からは「GIGAスクール構想の中で、NTT西日本から提案を受け、小中学校10校で、ICTを活用した授業及び大学教授からの指導を受け、意見交換会を実施した。

学力向上対策事業の一つとしてICTを活用し、子どもたちに、分かりやすい授業を実施すること、学力になるかと考えている。今後は、授業づくり研究会で、必要があれば同様の内容を実施するが、別個にICT推進チームがあり、この中で今回の研修内容や成果報告書の活用などを決めていく」との説明であった。



行政視察報告

◆はじめに

「住民と議会との懇談会」で「障がいのある子どもと保護者に対する支援について」相談があった。

そこで、療育と自立に向けた教育の充実を図るとともに、全ての子どもと、その家族の幸福を支えるため、8月7日に、先進地視察を実施した。

◆大阪府 高槻市 こども発達支援 センターwii

中核的な療育支援施設として「保護者との協働で行う、自閉症特化型の個別専門療育」を大事に、取り組みを進めている。

療育をはじめると、たり、保護者は、子どもををよく知る専門家。職員は、自閉症の専門家。情報共有し

ながら、支援パートナーとして、発達支援を実施していくことを掲げている。

療育は年間20回で、保護者同伴で、1時間の支援を行うだけでなく、月1回の保護者研修や、療育相談等も行っている。

特に、療育の方針を、「将来に向けての自立を目指すこと」とし、適切な方法で、一貫性と継続性のある教育や支援を行っている。

自閉症の特性を、早期理解するため、現状やニーズを把握しながら、本人の強みや得意なこと、生活しやすい視点を大事にしたアセスメントと、療育の中で見えてきた特性や、身につけてきたことが、暮らしの中で継続できるように努めている。

一人ひとりの特性に配慮した療育と、保護者との協働を大事に、将来を見据えた切れ目のない支援を、地域の

中で実践している姿勢に、深い感銘を受けた。

◆大阪府 枚方市 市立ひらかた子ども 発達支援センター



子どもたちの、健やかな成長を促すため、4本柱で取り組み①相談支援事業②通所支援事業③地域支援事業④医療・リハビリテーション、療育の充実を目指すためのポイントが3つある。

一つ目は、従来の「通所支援事業」に加え、「相談支援」や「保育所等

訪問支援」そして、「地域子育て支援」を実施する等、地域支援拠点の充実と整備に努めることで、早期療育に繋がっている。

二つ目は、一人ひとりのニーズにあった療育を実施できるよう、沢山の医師・療養士・保育士等の専門職員を配置している。

特に、必要な職員体制を整えるために、医師会との協力や、大学との連携、そして、公立保育所の交換実習に、中学生の体験学習を受け入れる等、人材の確保と育成に努めている。

三つ目は、専門性の高い訓練室や、総合療育を行うための施設整備を整えたことで、センター機能の充実化を図っている。

このように、一人ひとりの発達状況や、障がいの特性に合わせた、専門的な保育や療育を提供するだけでなく、地域支援事業の充実化

と、センター機能の強化を図ることで、療育支援の拠点を目指していた。



◆二つの発達支援 センターを視察して

両施設ともに「家族支援」を大事に考え、保護者研修を実施している。

内容は、子どもの行動理解や支援方法だけでなく、進路や将来を見据え、先輩保護者から幼少期の話を聞く「ペアレントメンターからのお話」は、必ず盛り込むそうだ。

先輩保護者の体験談を聞くことは、共感することが多く、自分だけではないと、心が少し楽になるだけでなく、見通しがもてたことで、不安が和らぎ、将来への育ちに繋がっているそうだ。

本町には、「児童発達支援センター」の設置はないが、「隠岐の島町相談支援チーム」を中核とした体制を構築するためにも、保護者や家族への支援を進めることと、早期療育のため、専門職員を確保することが、重要だと感じた。

◆終わりに

行政視察を終えて、委員会としての今後の動きになるが、障がいのある方への理解を深めることと、誰もが暮らしやすい地域社会の実現に努めるため、「あいさポーター研修（障がい者サポーター研修）」を受講する。

当委員会に付託された、令和6年度一般会計・事業会計補正予算、条例の制定、令和5年度一般会計・特別会計決算の認定等の議案は、全て原案通り「可決・認定すべし」とした。主なものを報告する。

ふるさと納税事業の推進を!

審査の状況・結果

◆隠岐ポートプラザ改修工事減額

本事業はポートプラザ2階を町民、観光客が利用できる交流施設として改修するものであった。しかし、国からの補助金が減額されたため、今定例会で減額となった。

委員会からは「本事業は長年未活用の施設を活用する重要な事業ではないのか」「補助金の配分についてどのような議論があったのか」などの意見があった。

担当課からは、重要な事業であり、来年度に向け再度進めていきたい。また国の査定において改修事業相当額が減額されたため、他事業の影響を考え、ポートプラザ改修事業を減額したとの説明があった。

委員会としては、来年度に向けてしっかりと

と進めていくよう指摘した。



隠岐ポートプラザ2階室内

◆田部谷団地改修工事

本事業は入居者が車いすを使用のため、入り口にスロープを設置する事業である。

委員会としては、障がいのある方でも住みやすい住居の提供が必要であることから、突発的な対応でなく町営住宅全体を計画的に整備するよう指摘した。

◆隠岐の島町大社エリア交流・民間商業施設の公共施設運営権に係る実施方針に関する条例

本条例は、新たに設置する予定の商業施設において運営権を設定することから、条例を定めるものである。

委員会からは「PFIで他事例のように民間会社が金融機関から融資を受け、設計・建設を行えないのか」「建設後の備品や改修工事などリスク分担はどのようなに考えているのか」など多くの意見があった。

担当課からは、町内在所の事業者を想定しており、都会のように銀行からの融資や設計・建設の契約を受けるリスクが大きく実施できる事業者がいなくなることから、今回の方針を定めた。また建物全体に係る工事は行政で行い、備品等の購入は民間事業者で行うこと

としていたとの答弁があった。
委員会としては新たな官民連携での実施にあたり、リスク分担をしっかりと定め、進めるよう指摘した。

決算審査

◆ふるさと納税事業

自主財源の確保、地元企業の活性化を目的に進められているふるさと納税事業だが、令和5年度は減少となっている。

委員からは「委託事業の意味があるのか」「返礼品のブランド化が弱く、その対策はどうするのか」などの意見があった。

担当課からは「ブランド力やPR不足に課題がある、すぐには難しいが地道にPRしブランド化を進めていきたい」との説明であった。
委員会としては、返礼品の充実とブランド

化の推進を進めて寄附額を増やし、地場産業の活性化にもつなげるよう指摘した。



報告事項

◆担当課より木質ペレット製造施設において、回転刃の欠損が確認されたとの報告があった。

委員会では、木質ペレット事業の重要な設備であることから、今後の管理をしっかりと行うよう指摘した。

行政視察報告

8月7日から9日の日程で、大阪府大東市役所にて「ふるさと納税の取り組み」「まちづくりの取り組み」について視察した。

◆大阪府

大東市役所訪問

ふるさと納税の取り組み

大東市では令和元年以降、約25億円のふるさと納税の受入れを継続されている手法などについて話を聞くことができた。

納税の目的は自治体の歳入増加と市内業者の魅力のPRをして大東市のファンづくりであるとの説明であった。

ふるさと納税返礼品については大東市内に大手家電工場が存在しているため家電の返礼品による寄付額は大きい。しかし、地場産品のプ

ランド化推進や他の施策と連携した営業活動をするなど、返礼品の開発に力を入れている。

この制度は応援したい自治体への寄付制度であるため、子育て支援や教育、健康・福祉、生活環境保全などの使



ふるさと納税についての説明

まちづくりの取り組み

同市では老朽化が著しい市営住宅の建て替えをきっかけに、人口減少・高齢に伴う地域コミュニティの担い手不足やまちなみの魅力・

競争力低下などの課題に対して、エリア全体のリノベーション、価値向上を目指してエリアのまちづくり構想が策定され、全国初のPPP手法を用いた公民連携事業である。市職員を民間企業に出向させ、民間的発想や手法を学ぶなど、民間活力の導入に積極的に取り組んでいた。

同市が出資をして(株)コーミンをつくり、市のビジョンに基づきテナントリーシングを行った。特別目的会社である民間企業が市や(株)コーミンの出資と金融機関からの融資で事業を実施している。

建物は特別目的会社が所有し、市が民間賃貸住宅を市営住宅として借り上げるほか、公園・河川・周辺道路の整備を担当している。市役所での視察後に大東市議会を尋ねた。人口11万人に対して議員数17人。議会は休日

や夜間の開催なども行っている。また、車いす専用傍聴席を設ける、本会議中の発言は自動翻訳がモニターに映し出されるなどの工夫もしており、開かれた議会を推進している。



大東市議会議場

午後からは昼食を兼ね、モリネキエリアの現地視察をした(近郊に飯盛山があり、方言で近くのことを「ネキ」ということから、『モリネキ』という名前になった)。

道路や公園などを整備し、かつてあった閑散とした市営住宅から、自然と調和した低層住宅に中庭を作ったことで、コミュニティの場が確保された。



morinekiエリア

商業棟では、都心の「まちなか」と近郊の「海・川・山」で自然を体感できる店舗や飲食店やベーカリー・書店雑貨店など、誰もが気軽に出入りできる店舗となっていた。

このプロジェクトは行政組織の連帯や職員等のノウハウ強化と住民等への丁寧な説明が不可欠であり地域と進めていかなくは失敗となるため、今後も綿密に事業拡大を目指していくとの説明であった。

テナントリーシングとは

空き店舗や共同店舗に新しいテナントを探して誘致するなどの不動産賃貸契約を行うこと。テナントリーシングによって新たな息吹をまちに吹き込み、商業地を活性化させることが期待できる。

帰路の途中に、大東市立歴史民俗資料館を訪れた。この施設は旧小学校の建物で、歴史民俗資料館やスポーツふれあいセンターなどに利用されており、遊休施設の有効活用現場を見学することができた。



morinekiエリア

採 決 の 状 況

第4回臨時会 全会一致で可決した議案

隠岐の島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	工事請負変更契約締結〔3災1900号 町道油井21号線①道路災害復旧工事〕
工事請負契約締結〔隠岐の島油槽所屋外No.1及びNo.5タンク改修工事〕	工事請負契約締結〔令和6年度港整備交付金西村港防波堤改良工事〕
令和6年度隠岐の島町一般会計補正予算(第2号)	

9月定例会 全会一致で可決・認定・承認・同意した議案

【承認第7号】工事請負変更契約締結の専決処分(都万目の民家保存修理工事)	【承認第8号】令和6年度隠岐の島町一般会計補正予算(3号)の専決処分
島根県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議	隠岐の島町大社エリア交流・民間商業施設の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例
隠岐の島町消防委員会条例の一部改正	隠岐の島町国民健康保険条例の一部改正
工事請負変更契約締結〔3災1868号 町道久見20号線②道路災害復旧工事〕	令和6年度隠岐の島町一般会計補正予算(第4号)
令和6年度隠岐の島町国保事業勘定特別会計補正予算(第2号)	令和6年度隠岐の島町水道事業会計補正予算(第1号)
令和6年度隠岐の島町下水道事業会計補正予算(第1号)	【同意第1号】隠岐の島町農業委員会委員の任命
【同意第2号】隠岐の島町固定資産評価審査委員会委員の選任	【同意第3号】隠岐の島町固定資産評価審査委員会委員の選任
【同意第4号】隠岐の島町固定資産評価審査委員会委員の選任	【認定第1号】令和5年度隠岐の島町一般会計歳入歳出決算
【認定第2号】令和5年度隠岐の島町国保事業勘定特別会計歳入歳出決算	【認定第3号】令和5年度隠岐の島町国保施設勘定(中村診療所)特別会計歳入歳出決算
【認定第4号】令和5年度隠岐の島町国保施設勘定(五箇診療所)特別会計歳入歳出決算	【認定第5号】令和5年度隠岐の島町国保施設勘定(都万診療所)特別会計歳入歳出決算
【認定第6号】令和5年度隠岐の島町下水道事業特別会計歳入歳出決算	【認定第7号】令和5年度隠岐の島町駐車場事業特別会計歳入歳出決算
【認定第8号】令和5年度隠岐の島町訪問看護事業特別会計歳入歳出決算	【認定第9号】令和5年度隠岐の島町布施へき地診療施設事業特別会計歳入歳出決算
【認定第10号】令和5年度隠岐の島町五箇へき地診療施設事業特別会計歳入歳出決算	【認定第11号】令和5年度隠岐の島町中財産区特別会計歳入歳出決算
【認定第12号】令和5年度隠岐の島町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算	【認定第13号】令和5年度隠岐の島町国保施設勘(西郷歯科診療所)特別会計歳入歳出決算
【認定第14号】令和5年度隠岐の島町水道事業会計歳入歳出決算	

※東京都在住の張 一文氏から郵送された、令和6年7月2日付「母(王乖彦)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情」は、議員配付としました。

編集後記

「大谷翔平」野球界のスーパースターであり、その名を知らない人はいない。少年野球時代から、「元氣よくプレイする。一生懸命キャッチボールをする。一生懸命走る。」コーチであった父親の教えを今も継続している。

MLBに移籍して7年目の今シーズン、MLB初のホームラン50本、盗塁50を成し遂げた。

偉業を成し遂げたにも関わらず、偉ぶることもなく、常に少年のような眼差しで試合に臨むその姿に感銘を受けた。

私も目標達成のために、日々努力するべきと思った。

文責 牧野牧子